

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		イリス				公表日	2026年 3月 13日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・基準を満たしています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・基準を満たしています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・必要に応じ、職員間で話し合い変更をかけています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎日清掃しています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	4	・部屋としてはないですが、マットで仕切りを作るなどしています。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・全職員関わっています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・周知し、改善策を検討し実施しています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・週ミーティング、月ミーティングを設け、話し合いを行っている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		・未記入1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・研修案内を周知しています。			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・作成し、公表しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・面談を行い、ニーズを確認し作成しています。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・中間評価、カンファレンスを複数名の職員で行い、その場に参加できなかった職員にも周知しています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・職員全員が計画書を確認し支援にあたっています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・発達チェックリストを使用(参考に)して確認しています。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・5領域の項目にそって設定、支援を行っています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・全職員が関わっています。			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・項目を決め、曜日に偏りがないよう、1ヶ月のスケジュールを決めています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・児童に合わせて対応しています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・活動企画書をもとに確認し、話し合いを行っています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・活動企画書に振り返りを記載し共有しています。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・毎日、記録を記入しています。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・6ヶ月に1度、見直しをしています。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・案内を頂いた際には参加しています。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・必要に応じ、対応できる体制を整えています。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・必要に応じ、情報共有をしています。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・必要に応じ、情報共有をしています。		
	28	(28~30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6			・研修で伺う機会を設けたり、必要に応じて連絡を取り合っています。また、巡回で来所された際に相談させていただいています。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		・全児童が、保育園・幼稚園に通っています。		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			・送迎時に保護者と話し、情報共有をしています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		・家族が参加できる集まりの案内、パンフレットを配布しています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			・契約時に行っています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			・定期的に面談の場を設けています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		・作成後、お渡しし、署名を頂いています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・都度、相談に応じ対応しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	・保護者会などはありませんが、親子参加のお祭りなどのイベントを通して、保護者同士が関わることが出来る機会を作っています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・すぐに調整し対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・月に一度発行している通信や毎日更新しているブログで発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・書類の持ち出し等、一切行っていません。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・個々の特性によって伝達方法を変える、また、保護者への説明も、細かく丁寧に説明することを心掛けています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		・今後、事業所で開催するお祭りに地域住民を招待する等、検討中です。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・毎月、避難訓練を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・毎月、避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・契約時、調査票に記載していただいています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・必要に応じ対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・毎月、ミーティング時に確認しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・毎年4月にお便りを発行し周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ヒヤリハットを共有し、ミーティング時に再発防止に向けて話し合っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・毎月ミーティング時に話し合いをしています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		・しっかりと説明を行った上で、計画書に記載しています。		